

2024年 10月号

回覧

由布高だより

NO.198

大分県立由布高等学校発行

〒879-5413

由布市庄内町大龍 2674-1

TEL 097-582-0244

HPアドレス

<https://kou.oita-ed.jp/yufu/>



由布高 HP ↑

由布高校振興大会

10月22日(火)「はさま未来館 DENKEN ホール」にて由布市教育委員会主催による今年度の由布高校振興大会が行われました。由布市内の3中学2年生に対して、「由布の学び発表」・「由布高校の特色を紹介」の二部構成で様々な活動を紹介しました。書道部と吹奏楽部のコラボによるオープニングに続き、第一部では、Taview、ドローンプログラミング、中国語・韓国語スピーチ、観光コース活動紹介、1学期の取り組み、キャリアウィークの発表が代表生徒たちによって行われました。特に、中国語・韓国語スピーチはクイズ形式で盛り上がっていました。第二部では、部活動紹介VTRをはじめ、パリオリンピックライフル射撃競技に出場した野畑美咲選手からのメッセージのほか、受験体験発表、ファッション造形作品発表、最後は郷土芸能部の舞で締めくくりました。浴衣のファッションショーや郷土芸能部の神楽では大きな盛り上がりを見せていました。



牛喰い絶叫大会

10 月 14 日(月)湯布院の並柳牧場にて牛喰い絶叫大会が行われ、本校 2 年観光コースの生徒がボランティアスタッフとして参加しました。

貞松優那さん(湯布院中学校出身)

私が、牛喰い絶叫大会で学んだのは、普段の生活ではできないような体験をする中で、自分の活動が社会貢献につながっていると実感したことです。

私は飲料販売の業務を担当しました。お客さまから「ありがとう」と声をかけていただき、貴重な体験をすることができました。牛喰い絶叫大会で学んだ「人のために働く大切さ」を活かし、これからのボランティア活動にも積極的に取り組み続けていきたいです。



稲刈り体験

10 月 1 日(火) 3 年観光コースで稲刈り実習をしました。6 月に田植えをした苗が、早くも収穫の時期を迎え、当日は秋晴れのもと稲刈りが行えました。クラス全員で協力して収穫したお米は、12 月の全校ボランティア実施後に P T A の皆さんの協力で開催する「大龍鍋(豚汁)」で美味しくいただきます。



「やさしい日本語講座」

10 月 16 日と 23 日に本校 2 年生を対象に「やさしい日本語講座」が開かれました。「やさしい日本語」とは「日本語を簡単に(易しく)」「相手のことを思って(優しく)」伝えるための日本語で、多世代・多文化交流による地域コミュニティの実現を目指したものです。

第 1 回の 10 月 16 日は立命館アジア太平洋大学(APU)の本田明子教授による「やさしい日本語」の基礎講座が行われ、第 2 回の 23 日には APU の留学生をお迎えして、実際に「やさしい日本語」への言い換え練習や、外国人の困りについての聞き取りなどを交流会形式で行いました、

参加した生徒からは「普段はあまり気にしたことがなかったことを改めて考えることができた」「日本語の漢字の読みや慣用句が外国人の人に難しいことに気づいた」などの感想が寄せられました。

